

インタビュー 商店街力UP!の秘訣とは？

3商店街の代表者の方々に、商店街運営のポイントや活性化方法、将来への展望をお聞きました。



さがみ夢大通り商店会
塚原 祐太 会長

若さを活かして盛り上げたい

商店会員がメリットを感じられる運営をしていきたいです。連絡網をしっかりと構築し、会員全体で情報を共有することが何をするにも重要だと考えています。同じタイミングで事業内容やアイデアが伝わることで、誰もあぶれることのないように事にあたっていきたい。

地元の自治体さんはもちろん、他の商店街など様々な地区の方々と協力していけたら面白いのではないかと感じています。先を読むことは難しいですが、役員も40代が中心となっているので、若さを活かしてまちを盛り上げていきたいと思っています。



女子大通り商工振興会
河内 文雄 会長

守りながら攻める運営を

また来たくような商店街をつかっていきたいですね。魅力あるお店が揃っていますし、商店会員同士も仲間意識をしっかりと持っています。

今回初めて「カレーフェスティバル」を開催しましたが、実際に各店舗へ説明に行ったのは1月からなんです。そんな急な話でも30店が参加してくれたことはとても嬉しく、つながりを感じました。また、役員の半分が女性なのですが、行動力や発想力に助けられています。今ある良さを残しながら新しいことにも挑戦し、「守りながら攻める」ような商店会運営をしたいと考えています。



相模大野北口商店会
斎藤 誠 会長

まちの認知度を上げたい

事業を行うにあたって、商店会の役割は行政と対等なやりとりをすることなど、整備の面ではないかと考えます。理想を言えば、イベント等はやりたい人が自発的に始め、商店会はそのサポートに回ることが自然な流れではないかと思えます。

熱意を持って事業を企画する人たちがいれば、「もんじえ祭り」のように息の長いイベントになりますし、まちの個性になっていきます。「コリドー市場」などでまちの認知度を上げ、商店会員にもメリットを感じてもらえたら幸いです。

地道に続けます!さがみはらクリーン大作戦

近年の開催実績

回数	実施日	商店街	参加人数
18	平成29年3月16日～3月22日	28	676
19	平成29年9月13日～9月20日	24	620
20	平成30年3月12日～3月23日	26	671
21	平成30年9月12日～9月28日	24	609
22	平成31年3月10日～3月22日	28	702

10年以上にわたって街の清掃活動を続けています。
誰もが気持ちよく過ごせる街づくりに、延べ1万人が参加しました!



さがみはら 商店街力UP! だより 第12号

発行日 平成31年3月10日 発行 相模原市商店街地域貢献活動推進協議会、相模原市商店街加入促進連絡協議会
事務局 相模原商工会議所 産業振興課 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 TEL.042-753-8136 FAX.042-753-7637

さがみはら

相模原市商店街地域貢献活動推進協議会／相模原市商店街加入促進連絡協議会
平成31年3月10日

商店街力UP! だより 第12号



たくさんの笑顔



商店街は街の
にぎわいづくりに
全力で取り組んでいます!



各地商店街が携わるたくさんのイベントの様子

※イベントの多くは実行委員会方式で運営され、地域を支える一員として商店街も積極的に参画しています。

あなたに
寄り添う!

バイスタンダー講座
を実施しています

バイスタンダー(bystander)とは救急現場に居合わせた人(発見者や同伴者等)のことを指します。

傷病者の救命率や社会復帰率向上に大きく影響する「救急車を要請する正しい判断」と「救急車が到着するまでに行う適切な処置」について、お客様と近い距離で触れ合うことの多い商店街では、積極的に講座の受講に取り組んでいます。



講座の様子
講師(一社)日本バイスタンダー養成協会

地域とつながる商店街

地域に密着した商店街では、それぞれ独自の事業を展開し、まちの活性化に努めています。今回は、三つの商店街の事業にスポットを当て、それぞれの商店街がどのように地域とつながっているかをご紹介します。

さがみ夢大通り商店会

ペDESTリアンデッキからの眺め



相模原の玄関口として

J R線相模原駅からまっすぐに伸びるさがみ夢大通り商店街。4 車線の道路に面し、相模原の玄関口として常に多くの人が行き交います。さがみ夢大通り商店会の塚原祐太会長は「様々なジャンルの店舗が軒を連ねており、相模原での生活を始めるまちとして、暮らしを支える、頼りになる商店街を目指しています」と話します。



花のまちづくり緑いっぱい運動の様子

「相模原駅前の目抜き通りとして注目される場所でもありますから、まちの美化には常に気を配っています」と塚原会長。そんな夢大通り商店会では『花のまちづくり緑いっぱい事業』を 6 月と 11 月の年 2 回、継続して行っています。「地元自治会の方と協力して続けています。近隣の方や S C 相模原の皆さんなど、毎回約 50 名に参加していただいて、約 400 の花の苗を植えています」と話すように、歩道には色とりどりの花が咲いています。「定期的に商店会員による一斉清掃をしている他、近隣住民の方が自発的に清掃活動をしてくださることもあります。地域のみなさんもここを愛してくれていると、とても嬉しく感じます」と塚原会長は笑顔を見せます。



試行錯誤しながら実施されるイルミネーション

冬季に実施されるイルミネーションもさがみ夢大通り商店会の名物になっています。駅前から相模原駅入り口交差点まで、街路樹に設置された約 1 万個の L E D 電球がクリスマスシーズンを盛り上げています。塚原会長は「コストのかかる事業ではありますが、まちの風物詩として残していきたい。専門家にも相談し、毎年試行錯誤しながら見栄えよく設置できるように努めています」と話します。また、商店会では過去に中国語の商店街マップも制作しました。塚原会長は「飲食店であればメニューであったり、海外の方への対応も各店しています」と話します。

塚原会長を含め、役員も 40 代が中心という同商店会。新しい取り組みを聞くと、「これまで無かった食に関するイベントとして『サンマ祭り』を企画しています。他の商店街でも行われていますが、良いものは取り入れていきたい。他にもはしもと商店街さんで行われている『まちゼミ』を試験的に実施する予定です」と塚原会長は意気込みました。

女子大通り商工振興会

打ち合わせもなごやかな雰囲気



新たな名物イベントに

小田急線相模大野駅の北西、相模女子大学へ続く女子大通り商工振興会。大学に直結しているだけに、毎日多くの学生の姿が見られます。商店街のイメージについて、女子大通り商工振興会の河内文雄会長は「駅からは少々遠いですが、色々なお店があり、楽しい商店街です」と話します。そんな女子大通り商工振興会が今春初めて開催したイベントが『相模大野カレーフェスティバル 2019』です。「昨日のカレーを温めて」



カレーフェスを P R する地元出身の芸人コンビ

カレーフェスティバルは横須賀をはじめ、市内でも開催されている人気イベント。河内会長は下北沢のカレーフェスに何年も通い、その効果を実感したそうです。「路地裏のお店にも人が集まっていて、実際に売り上げも上がっているそうです。継続できればとても効果がある、強いイベントだと感じました」と河内会長は語気を強めます。相模大野カレーフェスティバルには、女子大通り商店街から 14 店舗、相模大野銀座商店街から 12 店舗、その他近隣から 4 店舗の計 30 店舗が参加。普段はカレーを扱わないお店でも独自のメニューを振舞うのが特徴です。和洋中様々なお店がオリジナルメニューを考案し、イベントに臨みました。



相模女子大学の花見会に参加

女子大通りの名の通り、相模女子大学との関りも深く、昨年から同大学からの声掛けで『花見会』に出店を始めました。毎年 3 月末に開催され、樹齢 100 年といわれる百年桜が名物となっています。「飲食ブースへの出店で、テーブルなども全て持ち込みです。参加店舗の皆さんはプロなので、大変盛況でした」と河内会長。一昨年の来場者数 3 千人に対し、昨年は 8 千人と倍以上。今年は 9 千人を見込んでいます。河内会長は「地域の中で出来るのであれば、可能な範囲で手伝いたい」と微笑みました。

相模大野北口商店会

デッキから見渡すコリドー通り



コリドー通りの活性化

小田急線相模大野駅からペDESTリアンデッキを降りてすぐのコリドー通り。相模大野北口商店会のメインストリートです。「相模大野のコリドー通りを外へ発信していきたい。竹下通りといえば原宿というように、コリドー通りと聞けば相模大野とすぐに思い浮かぶようになれば」と話すのは相模大野北口商店会の斎藤誠会長。言葉の通り、相模大野北口商店会ではコリドー通りの活性化に努めています。



力を入れる「コリドー市場」

「コリドー」とは英語で通路、回廊、廊下を意味する言葉。コリドー通りは駅から直結し、伊勢丹相模原店や相模女子大グリーンホール、図書館といった相模大野の主要施設へつながる大事な通路であるとともに、商店街の中核でもあります。そんなコリドー通りで行われるイベントが『コリドー市場』です。

コリドー市場とは、コリドー通りを様々な催しに活用してもらうため、コリドー通りそのものを貸し出す企画。場所・環境を提供し、物産展やワークショップなど、ジャンルを問わず開催できます。2017 年 11 月の第 1 弾は、商店会からの呼びかけで実現した『女性作家によるハンドメイド展』。相模大野で毎年 2 回行われている一大イベントである『アートクラフト市』に出店していた作家に声をかけ、翌年にも開催されました。



「歳末ありがとうセール」の様子

2018 年 4 月には第 2 弾として商店会主催の『名車ソムリエ展』を開催。国内に数台しかない車や、取引料価格が 1 億円を超える車など、13 台の希少車がコリドー通りに並びました。「コリドー通りでやってみたいというアイデアがあれば、地域を問わず受け付けています。コリドー通りの魅力を伝え、盛り上げるためには、地元だけで完結させる必要はないのではないかと考えます」と斎藤会長。地域を盛り上げるため、あえて地元にとどまらない姿勢は、新鮮な発想です。

また、『歳末ありがとうセール』など、商店会らしい催しも行っています。「隣接した商店会との連携もあり、まちとしての結束は強いと思います。綺麗な街並みですし、チェーン店であっても個店であっても、相模大野らしさがあるのではないのでしょうか」と斎藤会長は笑顔を見せました。